令 和 ４ 年 ９ 月

保護者様・地域の皆様

横浜市立深谷中学校
校長　榎田　卓央

全国学力・学習状況調査（3学年）の結果報告について

４月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果の考察がまとまりましたのでご報告いたします。

＜ 国語 ＞

本校平均（正答率％）	全国平均（正答率％）
６５	６９．０

●全国平均と比較すると４ポイント下回った。観点別に見ると、言葉の特徴や使い方に関する事項、読むこと、話すこと・聞くことの３つの観点で全国を下回った。ただ、観点ごとの傾向は全国と似ていた。

◆「生徒質問紙」では、「大切だと思うか」「国語の授業で学習したことが将来、社会に出たときに役に立つと思うか」という項目については当てはまると答えた生徒が半数を超え、ポジティブに考えていることがうかがえる一方で、「国語の勉強が好きか」「国語の授業の内容がわかりやすいか」には全国平均よりも低かった。

★生徒質問紙による調査から、多くの生徒が生活に結びつけようと考えている一方で、授業で基本的な知識事項を身につけることに苦手意識をもっていることがわかる。基礎基本を大切にしながら言葉の力を高めていけるような言語活動を行っていきたい。

＜ 数学 ＞

本校平均（正答率％）	全国平均（正答率％）
４５	５１．４

●全国平均と比較すると、６．４ポイント下回った。観点別では、数学的な技能が全国平均との差が最も大きく、7.６ポイント下回った。数学的な技能が大きく下回るのは昨年度と同じ傾向であるが、領域ごとに分析すると、図形の正答率が７．８ポイント下回っているがそれ以外は６～６．５ポイントであった。図形領域に苦手意識を持っている生徒が多いことが影響していると考えられる。

◆「生徒質問紙」では、「数学の勉強は大切だと思いますか」「数学の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」という項目について、全国平均を上回っている。しかし、「数学の勉強は好きですか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」という項目については全国平均を下回った。

★生徒質問紙による調査から、多くの生徒が数学の学習について真剣に取り組み、生活と結び付けようと考えていながらも、授業で苦労している様子が伺える。調査結果を踏まえ、各領域において改めて基礎基本の定着を目指し、授業改善を図っていきたい。

＜ 理科 ＞

本校平均（正答率％）	全国平均（正答率％）
４６	４９．３

●全国平均と比較すると、３．３ポイント下回った。観点別では、知識・技能が３．１ポイント、思考・判断・表現が３．４ポイントそれぞれ下回っている。
領域ごとに分析すると、「エネルギー」「生命」を柱とする領域でそれぞれ５．２ポイント、６．３ポイント下回っているものの、「粒子」「地球」を柱とする領域ではほぼ全国平均と同様である。解答の傾向を見ても、実験・観察に関わるものでの正答率が高く、粒子概念も形成されていることがうかがえる。

◆「生徒質問紙」では、「理科の勉強は好きですか」「理科の勉強は大切だと思いますか」「理科の授業の内容はよくわかりますか」など、全項目で神奈川県平均および全国平均を上回った。理科に対しポジティブなイメージを持っていることがうかがえる。

★生徒質問紙による調査から、多くの生徒が理科の学習について意欲的に取り組んでいることがうかがえる。実験観察に関わる問題の正答率が高かったことから普段の授業に実験観察を積極的に取り入れつつ、実験で観察した事象を一般化していく過程を工夫することでさらなる学力向上が見込まれる。

＜生活・学習意識調査＞

〇生活習慣について
・「（１）朝食を毎日食べているか」「（２）毎日同じ時間に寝ているか」「（３）毎日同じ時間で起きているか」という質問に関しては全国平均を若干下回る数値となった。
〇スマートフォン、携帯の使用について
・「（５）１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか」の質問に関して『3時間以上』と答えた生徒は４３．６ポイントであり、全国を１３．８ポイント、「（６）１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームする時間は除く）」の質問に関して『３時間以上』と答えた生徒は５０．９ポイントであり、全国を２１．４ポイント上回っている。
〇自尊感情等について
・「（６）自分にはよいところがあると思うか」の質問に関して肯定的な回答をした生徒は６５．５ポイントであり、全国平均を２３．０ポイント下回っている。一方で、「（１０）自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」「（１１）難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」の質問に関して肯定的な回答をした生徒は全国とほぼ同じ数値である。
・「（９）将来の夢や目標をもっているか」の質問に関して、「している」と答えた生徒は全国に比べて７．３ポイント下回っている。

＜学校としての今後の取組について＞

学習面において、授業では落ち着いた取組をすることができています。学校の授業以外の学習時間を確保している生徒と、そうではない生徒がいます。学習内容を定着させるために、自分で家庭学習に取り組むことができるような支援をしていきます。「学習の中でコンピュータなどのＩＣＴ機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答した生徒が６０ポイント以上います。今年度から１人１台配当されたクロムブックを授業で活用して、生徒の学習意欲を高め、できるようになることが楽しいという学習面での達成感・充実感をもたせるように指導していきたいと思います。読書に関しては、一日あたりどのくらい読書をするかについては「１０分より少ない」「全くしない」という回答が半分以上を占めています。朝読書の習慣の定着など、学校でも読書活動を充実させていきたいと考えています。

校則に関してはきちんと守っているという意識が高い生徒が多いと考えられます。これは本校生徒の長所であり引き続き道徳、特別活動などを通して学校生活全般で培っていけるような取組を進めていきます。「いじめは許さない」については深谷中学校いじめ防止に関する基本理念の基、組織的ないじめの早期発見、解決およびいじめが起こらない学校風土づくりに取り組みます。
「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」と回答をした生徒が多い一方で、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」と回答した生徒が少ないです。今後は生徒１人１人が自分の強みやよさを自覚でき、自信をもって目標に向かい努力できるように、様々な活動を通して自尊感情を高めることが必要だと考えます。

家庭生活においては、毎日朝食をとることや、十分な睡眠時間をとるなど、規則正しい生活を送っている生徒が多いです。日頃よりご家庭のご理解とご協力ありがとうございます。その反面、携帯電話、スマートフォンの使用率が群を抜いて高い状況があります。家庭で携帯電話、スマートフォンの使用のルールを今一度見直していただき、適切な使用ができるようご指導いただきますようお願いします。
今後も、学校での様子（学習面・生活面など）を生徒と保護者間で十分に対話や会話ができる環境づくりに協力をお願いします。

＜学校での取り組み＞		＜家庭での取り組み＞
日々の授業 学習計画・振り返り 放課後の学習会 学習相談日の設定 試験前の学習会	相互作用で 学力向上	【生徒】 日々の授業の復習 【保護者】 学習内容の確認 理解度の確認